

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	2020年7月14日
【四半期会計期間】	第54期第3四半期（自 2020年3月1日 至 2020年5月31日）
【会社名】	旭化学工業株式会社
【英訳名】	ASAHI KAGAKU KOGYO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉浦 武
【本店の所在の場所】	愛知県碧南市港南町二丁目8番地14 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	愛知県安城市城ヶ入町広見133番地3
【電話番号】	（0566）92-4181（代表）
【事務連絡者氏名】	総務部次長 松尾 陽介
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第53期 第3四半期連結 累計期間	第54期 第3四半期連結 累計期間	第53期
会計期間	自2018年9月1日 至2019年5月31日	自2019年9月1日 至2020年5月31日	自2018年9月1日 至2019年8月31日
売上高 (千円)	6,457,705	5,722,409	8,509,929
経常利益 (千円)	158,221	38,066	191,823
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失( ) (千円)	78,265	18,317	273,492
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	38,648	68,612	402,926
純資産額 (千円)	4,307,543	3,768,304	3,865,968
総資産額 (千円)	5,703,301	4,808,439	5,211,073
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期(当期)純損失金額( ) (円)	24.25	5.67	84.73
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	75.53	78.37	74.19

回次	第53期 第3四半期連結 会計期間	第54期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年3月1日 至2019年5月31日	自2020年3月1日 至2020年5月31日
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額( ) (円)	12.89	18.13

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第53期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第53期及び第54期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、1株当たり四半期(当期)純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大については、現在状況を注視しており、今後の経過によっては当社の事業に影響を与える可能性があります。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国際的な貿易摩擦や消費税率引き上げの影響を受け、国内景気への影響が懸念されていたところ、新型コロナウイルス感染症の発生により緊急事態宣言が発令され景気が急激に悪化しました。また、当該宣言解除後も、回復に向けた動きは鈍く、将来の見通しについては不透明な状況が続いております。

このような状況の中、主な販売先であります電動工具業界と自動車業界におきましては、新型コロナウイルスの影響で一部の部品供給ストップ、受注の減少等により生産、販売が減少しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は57億22百万円（前年同四半期比11.4%減）となり、経常利益は38百万円（同75.9%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は18百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益78百万円）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

##### (イ) 日本

国内は、電動工具部品と自動車部品共に受注減少により、売上高は29億56百万円（同9.2%減）、営業損失は80百万円（前年同四半期は営業損失47百万円）となりました。

##### (ロ) 中国

中国は、受注減少により、売上高は24億48百万円（同15.0%減）、営業利益は1億35百万円（同44.9%減）となりました。

##### (ハ) タイ

タイは、受注減少により、売上高は3億73百万円（同13.5%減）となりましたが、営業損失は前期に減損損失を計上したことに伴い減価償却費が減少した影響等により改善し61百万円（前年同四半期は営業損失82百万円）となりました。

##### 財政状態の状況

資産合計は、前連結会計年度末と比べ4億2百万円減少し48億8百万円（前連結会計年度末比7.7%減）となりました。これは主に現金及び預金が70百万円、受取手形及び売掛金が3億6百万円、長期預金が99百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ3億4百万円減少し10億40百万円（同22.7%減）となりました。これは主に買掛金が2億60百万円、未払法人税等が26百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ97百万円減少し37億68百万円（同2.5%減）となりました。これは主に利益剰余金が47百万円、為替換算調整勘定が58百万円それぞれ減少したことによるものであります。

#### (2) 経営方針・経営戦略等

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言は解除されましたが、経済活動の停滞や個人消費の動向等により先行き不透明な状況であります。主な販売先の電動工具業界、自動車業界からの受注数については、新型コロナウイルスの影響は大きく受注数が減少しております。中国はほぼ通常稼働に戻りましたが、国内、タイ工場につきましては、直近の内示数より実際の受注数が減少する等の不安定な状態があります。

このような事業環境の中、影響を最小限に抑えるため、経費削減の各取り組みを進めております。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は4百万円であります。なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,720,000
計	12,720,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年5月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年7月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,896,000	3,896,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	3,896,000	3,896,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年3月1日～ 2020年5月31日	-	3,896,000	-	671,787	-	717,689

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2020年2月29日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 668,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,226,200	32,262	-
単元未満株式	普通株式 1,700	-	-
発行済株式総数	3,896,000	-	-
総株主の議決権	-	32,262	-

【自己株式等】

2020年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
旭化学工業(株)	愛知県碧南市港南町二丁目8番地14	668,100	-	668,100	17.15
計	-	668,100	-	668,100	17.15

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年9月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,285,693	1,215,365
受取手形及び売掛金	1,067,082	760,927
商品及び製品	174,176	187,044
仕掛品	179,256	169,229
原材料及び貯蔵品	128,778	152,478
その他	142,128	147,389
貸倒引当金	740	420
流動資産合計	2,976,375	2,632,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	531,841	514,967
機械装置及び運搬具(純額)	259,003	342,932
土地	883,354	875,713
その他(純額)	88,958	54,497
有形固定資産合計	1,763,158	1,788,110
無形固定資産		
投資その他の資産	13,838	16,429
投資有価証券	72,200	86,569
繰延税金資産	1,570	1,254
長期預金	297,730	198,339
その他	89,259	88,779
貸倒引当金	3,059	3,059
投資その他の資産合計	457,701	371,884
固定資産合計	2,234,697	2,176,424
資産合計	5,211,073	4,808,439
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	802,645	541,825
未払法人税等	32,473	5,598
賞与引当金	35,437	43,081
役員賞与引当金	7,500	5,625
その他	317,413	295,978
流動負債合計	1,195,469	892,107
固定負債		
繰延税金負債	105,545	104,454
役員退職慰労引当金	40,246	42,533
その他	3,843	1,038
固定負債合計	149,635	148,027
負債合計	1,345,105	1,040,135

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	671,787	671,787
資本剰余金	729,938	729,938
利益剰余金	2,300,998	2,253,629
自己株式	298,844	298,844
株主資本合計	3,403,879	3,356,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,363	32,895
為替換算調整勘定	437,725	378,897
その他の包括利益累計額合計	462,088	411,793
純資産合計	3,865,968	3,768,304
負債純資産合計	5,211,073	4,808,439

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
売上高	6,457,705	5,722,409
売上原価	5,830,923	5,217,282
売上総利益	626,781	505,126
販売費及び一般管理費	509,182	509,104
営業利益又は営業損失( )	117,598	3,978
営業外収益		
受取利息	22,754	20,855
受取配当金	249	231
為替差益	1,806	1,255
補助金収入	-	14,886
その他	16,247	5,161
営業外収益合計	41,057	42,390
営業外費用		
支払利息	434	346
営業外費用合計	434	346
経常利益	158,221	38,066
特別利益		
固定資産売却益	379	363
投資有価証券売却益	11,806	-
特別利益合計	12,185	363
特別損失		
固定資産売却損	3,660	832
固定資産除却損	555	875
特別損失合計	4,216	1,708
税金等調整前四半期純利益	166,190	36,721
法人税、住民税及び事業税	99,663	59,487
法人税等調整額	11,737	4,449
法人税等合計	87,925	55,038
四半期純利益又は四半期純損失( )	78,265	18,317
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )	78,265	18,317

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	78,265	18,317
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,572	8,532
為替換算調整勘定	10,044	58,827
その他の包括利益合計	39,616	50,295
四半期包括利益	38,648	68,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38,648	68,612
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
減価償却費	177,019千円	113,603千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年11月22日 定時株主総会	普通株式	12,911	4.00	2018年8月31日	2018年11月26日	利益剰余金
2019年4月12日 取締役会	普通株式	9,683	3.00	2019年2月28日	2019年5月20日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月28日 定時株主総会	普通株式	19,367	6.00	2019年8月31日	2019年11月29日	利益剰余金
2020年4月13日 取締役会	普通株式	9,683	3.00	2020年2月29日	2020年5月18日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自2018年9月1日 至2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	タイ	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	3,255,709	2,770,608	431,387	6,457,705	-	6,457,705
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	111,164	768	111,932	111,932	-
計	3,255,709	2,881,772	432,155	6,569,638	111,932	6,457,705
セグメント利益又は損失 ( )	47,041	246,285	82,556	116,687	911	117,598

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自2019年9月1日 至2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	タイ	計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	2,956,009	2,392,715	373,685	5,722,409	-	5,722,409
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	56,241	-	56,241	56,241	-
計	2,956,009	2,448,956	373,685	5,778,651	56,241	5,722,409
セグメント利益又は損失 ( )	80,816	135,729	61,847	6,935	2,957	3,978

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失( )	24円25銭	5円67銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	78,265	18,317
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	78,265	18,317
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,227	3,227

(注) 1. 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

2020年4月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

- (イ) 中間配当金の総額 9,683千円
- (ロ) 1株当たりの金額 3円00銭
- (ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日 2020年5月18日

(注) 2020年2月29日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行っております。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年7月13日

旭化学工業株式会社

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 森内 茂之 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 古田 賢司 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている旭化学工業株式会社の2019年9月1日から2020年8月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年3月1日から2020年5月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年9月1日から2020年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、旭化学工業株式会社及び連結子会社の2020年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれておりません。